

好評発売中

# 楽浪時代 漆器模様図解

## 小場恒吉著

◎A4判糸綴じ 並製本 五十六頁

原本手描き彩色図版二十一点を約七〇%縮小掲載

編集・発行・明石ゆり

頒価・本体三、三三四円十税十梱包送料

ご注文は、下記ファクシミリかメールにてお願いいたします。

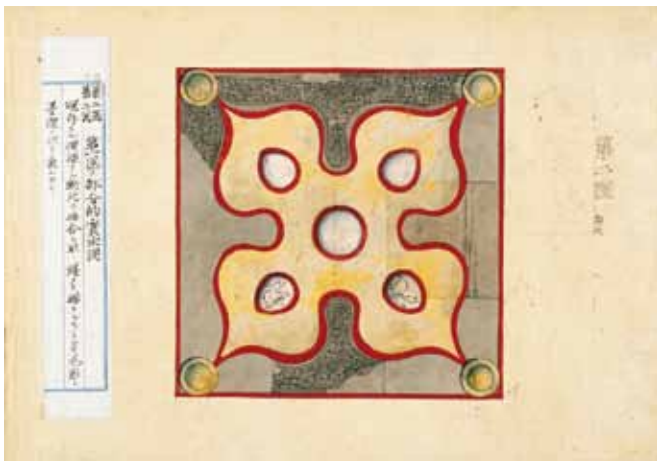
Facsimile 〇三―五九七七―二三九九

Eメール yuri-san@mail.goo.ne.jp

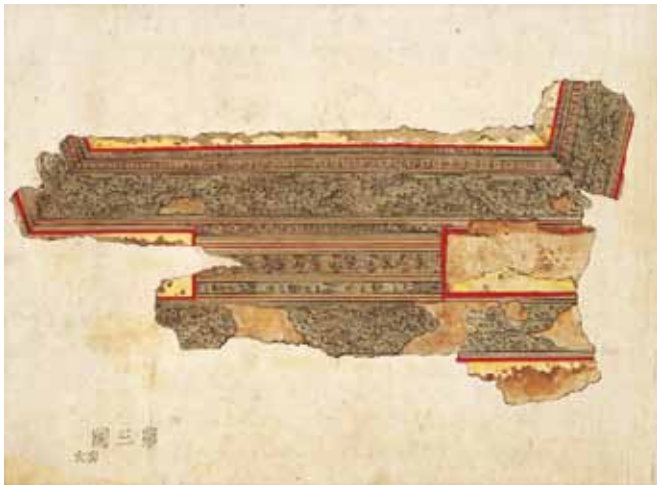
明石ゆり宛



表紙



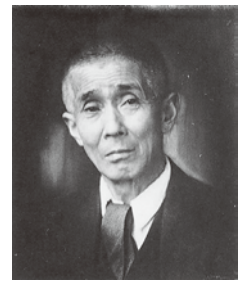
第2図 漆塗匣ノ被セ蓋



第3図 漆塗匣ノ被セ蓋



第11図 全蓋上面實大図



小場恒吉（おば・つねきち、明治十一―昭和三十三年）秋田市の士族の家に生まれ、東京美術学校（現東京藝術大学）に学ぶ。後に同校図案科、および芸術学科の教授を歴任する。又、大正元年より度々朝鮮に渡り、高句麗古墳壁画模写、楽浪古墳発掘、慶州南山仏蹟の調査等に携わった。紋様研究に生涯をささげ、この分野の泰斗として第一回日本芸術院恩賜賞（昭和二十五年）、紫綬褒章（昭和三十年）を授かる。古寺修復保存の重要性を唱え、法隆寺、平等院鳳凰堂の修復作業に従事する。この他、東大寺法華堂、興福寺、醍醐寺、日光東照宮などの摸写復元にかかわり、その道筋を開いた。

好評発売中既刊書

紋様学のパイオニア小場恒吉

佐々木榮孝著

B5判 並製本 ジャケット付き 一八四頁

口絵カラー 本文モノクロ図版多数

頒価・本体一、八一〇円十税十梱包送料



紋様学のパイオニア小場恒吉 佐々木榮孝著